

川辺川ダム事業やビオトープを学びに ～八代農業高校が環境学習～

去る平成18年3月3日(金)に頭地資料室「やませみ」や「鳥と昆虫の広場公園(ビオトープ)」などで、八代市にある八代農業高校農業土木科の1年生と教職員、約39名が川辺川ダム事業の概要や環境について学びました。

初めのうちは聞き慣れない専門用語に少しとまどった様子でしたが、頭地資料室でダム事業や環境保全対策についての説明を聞くにしがたい、次第にするどい質問が出るほど皆さん真剣に学ばれていました。

午後からは、「鳥と昆虫の広場公園(ビオトープ)」や小動物の保全対策の一つである水飲み場に場所を移し、せせらぎ水路に孵化したオタマジャクシを題材に食物連鎖について学ぶと共に、鹿の角研ぎ跡や水飲み場の構造などに直にふれてもらい環境に対する知識を高めてもらいました。

<<環境学習のようす>>



ダムはどこにできるの？



ダムはいるのかな？



環境を考えて…

小動物のための対策を見てみよう

野生のサルもおでむかえ



いきもの見つけたよ！